



令和6年8月9日

各 位

会社名 トラスコ中山株式会社
代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
(コード 9830 東証プライム)
問合せ先 取締役 経営管理本部 本部長 兼
デジタル戦略本部 本部長 兼
オレンジブック本部 本部長
数 見 篤
(TEL. 03-3433-9830)

剰余金の配当、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和6年8月9日開催の取締役会において、下記のとおり令和6年6月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議するとともに、令和6年2月9日に公表（以下、前回発表予想）した業績予想及び配当予想の修正を決定しましたのでお知らせします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (令和6年2月9日公表)	前事業年度実績 (令和5年12月期)
基 準 日	令和6年6月30日	同左	令和5年6月30日
1株当たり配当金	26円00銭	24円00銭	23円00銭
配当金総額	1,714百万円	—	1,516百万円
効力発生日	令和6年8月30日	—	令和5年8月31日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 令和6年12月期通期連結業績予想数値の修正（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 284,710	百万円 18,610	百万円 18,850	百万円 14,740	223円53銭
今回修正予想（B）	290,000	19,112	19,364	15,032	227円96銭
増減額（B-A）	5,290	502	514	292	
増減率（%）	8.1	3.2	3.7	22.5	
(参考)前年同期間実績 (令和5年1月1日～ 令和5年12月31日)	268,154	18,519	18,669	12,268	186円05銭

3. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	合計
前回予想(令和6年2月9日)		25円00銭	49円00銭
今回修正予想		24円00銭	50円00銭
当期実績	26円00銭		
前期実績(令和5年12月期)	23円00銭	23円50銭	46円50銭

4. 修正の理由

(業績予想の修正)

製造業を中心としたモノづくり現場において、堅調な設備投資需要に支えられ、景況感は改善に向かいました。当社及び連結子会社の中間連結会計期間においては、各施策の取組み強化により業績が堅調に推移したことで、売上高が想定より伸長した結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益が前回予想を上回りました。また、下期(令和6年7月1日～令和6年12月31日)において、得意先様の利便性向上を目的に、当社が販売する工場・作業現場のプロツール総合カタログ「トラスコ オレンジブック」の掲載アイテム数を約42万アイテム(前年比約21万アイテム増)まで大幅に増加させ、カタログは5分冊から12分冊に拡大する予定です。これに伴う原価の上昇により、下期の売上総利益が想定を下回る見込みですが、上述の通り上期の業績が前回予想を上回ったため、通期としては前回予想を上回る見込みです。これらの状況を鑑み、令和6年2月9日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(剰余金の配当及び配当予想の修正)

利益配分につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を基礎とし、中間配当金は1株当たり中間純利益が20円を上回る場合は、その連結配当性向を25%とし、業績に連動した配当を行うことを基本方針としています。

当中間期末の利益配当につきましては、配当の基本方針に基づき算定した1株当たり中間純利益102円30銭に連結配当性向25%を乗じて50銭未満切り上げ計算をした結果、中間配当金は1株当たり26円00銭となりました。この金額は、前回予想を2円00銭上回ります。一方、下期はカタログ刷新の影響により、売上総利益が想定を下回る見込みですが、上述の通り通期としては前回予想を上回る見込みのため、年間配当金は、前回予想の49円00銭を1円00銭上回る50円00銭となる見込みです。その結果、期末配当金は前回予想の25円00銭を1円00銭下回る24円00銭となる見込みです。

以上